

吉井小学校 6 年生、修学旅行先の長崎で観光 PR !

吉井小学校 6 年生 (担任: 佐々木和教諭、伊東勇治教諭) が修学旅行で訪れた長崎市で 6 月 5 日、うきは市の観光 PR を行いました。同校では、5 年生が地域取材しながら観光案内マップを作成していますが、今年は修学旅行先での PR も初めて企画されました。観光の先進地でもある長崎市の関係職員を宿泊先に招き、「案内マップ」を使いながら、白壁の町並みなど市内の観光 PR や意見交換を行いました。「うきはにも長崎に負けない魅力があることが分かった」と PR の手応えを感じていたようです。



▲ 5 日朝の出発式で、今村副市長から 6 年生全員が「うきは市特別観光案内人」の委嘱を受け、代表があいさつ



▲ 5 日夜、長崎市内のホテルで、同市の観光関係の職員に PR と意見交換 (写真=上下)



東京都の中世古昌代さん、デュアルライフ推進大使に

都市部の居住者のうきは市との交流を推進する一環として、デュアルライフ推進大使に東京都の中世古昌代さんが委嘱されました。中世古さんが 3 年前、うきはを初めて訪れた際に出会った商工会女性部のみなさんとの交流が今も続いています。6 月 22 日市役所での委嘱式 (写真) には、女性部のみなさんも同席されるなか、中世古さんは「今後とも縁あって生まれたこの交流を続けていきたい」と話されました。

うきはゆかりの「宇宙飛行士」
エリソン・オニヅカ氏のふるさと
ハワイ島にむけて



道の駅うきはの「ウキハコ」で、
**キラウエア火山噴火からの
復興を祈る「千羽鶴」を折ろう**



▲ 「ウキハコ」で千羽鶴を折る実行委員会のみなさん

今年 5 月、米ハワイ島のキラウエア火山で発生した火山活動により、家屋などへの被害をはじめ、主要産業である観光への影響も生じています。このハワイ島生まれの宇宙飛行士、故エリソン・オニヅカ氏の祖父母は浮羽町高見出身で、同氏は 1983 年に先祖の墓参りに訪れた際、浮羽中学校での記念講演で「夢に向かって努力しよう。きっと夢はかなえられる」と語り生徒たちに勇気を与えてくれました。

今回、エリソン氏の顕彰活動に取り組むエリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ実行委員会では、エリソン氏の生まれ故郷ハワイ島での噴火に際して、お見舞いの気持ちを込めて、「キラウエア火山噴火からの復興を祈る『千羽鶴』を折ろう」という取組を道の駅うきはの「ウキハコ」で、当面 7 月末まで行っています。

みなさまの御賛同を、どうぞよろしくお願いいたします。